



学校だより ふうしゃ

平成30年1月8日
アムステルダム日本人学校
No. 24
<http://www.jsa.nl/>

正月の子どもになってみたき^{かな}哉 (小林一茶)

新年、あけまして、おめでとうございます。穏やかなお正月をお迎えのことと思います。2018年がスタートしました。時間はいつも同じ速さで流れているのに、元日ほど夜が明けて目覚めた時に、こんなにも気持ちの違う朝はないと思います。日付が1月1日となっただけで、期待で胸が躍ります。子どもたちもきっと新たな決意をもったことでしょう。今年が、みなさまにとってすばらしい1年となりますよう、お祈り申し上げます。

さて、学校生活におきましては3学期は1年間のまとめの時期です。身体も心もさらにひとまわり大きく成長して、次の学年へのステップとしてほしいと思います。学習面はもちろん、生活面でも、この一年間に子どもたちが身に付けたことがしっかりと定着するよう、教職員一同、支援して参ります。

◆1月の学校行事◆



国際社会を生きる 日本人になるために！

～日本の伝統・文化を体験する～

異国で生活している本校の子どもたちは、グローバルな視点で物事をとらられる感覚を自ずと身に付けています。この貴重な経験を生かし、将来、国際社会に貢献し、世界の人々から信頼される日本人として成長してほしいと願ってやみません。

そのためにも、まずは日本の伝統・文化の豊かさに気づき、誇りと愛着をもつことで、異文化に対する深い理解と、異なる文化をもつ人々と協調していく態度を育みたいと本校では考えています。

1月は日本の伝統的な文化を体験する行事が幾つか計画されています。それらを継承するということが以上に、豊かな感性や創造力を養い、子どもたちが生き生きと楽しく活動してほしいと思います。



昨年度の百人一首大会から



昨年度の書き初め大会から

2018年 明けましておめでとうございます

明けましておめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、ご家族で新年を迎えられたことと思います。本日より3学期が始まりました。今年も子どもたちが充実した学校生活が送れるよう、今年も職員一同頑張っていきたいと思います。アムステルダム日本人学校をどうぞよろしくお願いいたします。

以下、本日の始業式で子どもたちへ話したことをお伝えします。

今日から3学期がスタートしました。3学期みなさんが学校に来る日は、3月17日までのわずか10週間です。3つの学期の中で最も短い学期です。短い学期ですが、一年間のまとめをしっかりと行い、次の学年へ進む前の大事な学期でもあります。ですから、もう明日からスイッチを切り替えて、トップギアを入れて学校生活に取り組んでほしいと思います。

2学期の始業式では、みなさんに充実した学校生活を送ろうとお話ししました。そこで、3学期もめあてをもって学校生活に取り組んでほしいと思います。3学期はみなさん一人一人が自分の心の中の感謝の気持ちを育ててほしいと思います。感謝すること、ありがたいと言えること、みなさん簡単だと思いますか？

私はこのめあてはとても難しいと思っています。どうして難しいのか今から説明します。人から言われて形だけ感謝するのは、本当の意味からすると感謝ではありません。そんな感謝はされてもあまり嬉しくありませんね。自分の心の中の感謝の気持ちを育てるには、まず周りの人の思いに「気づく」ことができるかどうかにかかっているからです。そのためには心のアンテナを磨いていかないとはいけません。

一つ例をあげてみましょう。みなさんはいつも学校にお弁当を持っています。毎朝お母さんからお弁当を手渡された時、「ありがとう」が言えていますか？お母さんがみなさんのためにお弁当を作るのは当たり前ではありません。毎朝手渡してくれるお弁当をお母さんがどんな思いで作っているか想像してみてください。そう考えることがお母さんの思いに「気づく」ことになると思います。自分から「気づく」ことではじめてありがたいといった感謝の気持ちが心に湧いてきます。でも、それを毎日のことで当たり前と思ってしまうと心に感謝の気持ちは湧いてきません。感謝の気持ちを湧かせるには、まず自分から「気づく」ことができないダメなのです。だから感謝することは難しいと思うのです。

「感謝すること」はとても人間的な行いで、人として生きていく上でとても大事な気持ちの一つです。感謝ができない人は、独りよがりになり人間らしい心を失ってしまうおそれがあると思います。そのとても大事な感謝の気持ちを育てる上で、3学期は絶好のチャンスだと私は思います。

今学期は学校で一番大事な卒業式があります。1年間の締めくくりの時期でもあります。だから、これまでお世話になった人々に感謝して、締めくくりをしっかりとしていきたいと思います。先ほどのお弁当の例のようにみなさんは周りにいる多くの人に支えられて生活しています。これは、子どもであるみなさんだけではなく、大人も全く同じです。人の思いに気づき感謝できる心の豊かな人になってほしいと思っています。そして、人の思いに敏感に気づけることがその先の自分の人間関係を豊かなものにし、さらに豊かな人生をつくっていくことになると私は思います。どれだけ自分の周りの人の思いに気づけるか、それがありがたいの回数につながります。だから当たり前だと思っていることを心の目でしっかり見て、気づいて、ありがたいと思えるようにしていきましょう。そして、ありがたいと思ったら、素直に「ありがとう」と言葉に出して相手に伝えましょう。

3学期は、「ありがとう」この言葉が響き合うクラス、学校にしていきたいと思います。

今日から新しいお友だちがきています。いつものように、みなさんの方から声をかけてあげて、早く学校生活に慣れるように協力してあげてください。

最後に、これから風邪や感染症が流行する時期に入ってきます。いつもと体の調子がおかしかったり、熱っぽかったりしたら、早めに休むようにしていきましょう。うがい手洗いをよく行い、病気から自分の体を守るように気をつけていきましょう。

(尾後貫 智)